博多区庁舎耐震対策について

１．概要

・博多区庁舎は昭和 46 年に建設されており，**耐震対策が必要な施設**である。

・施設の耐震改修工事を行った場合，鉄骨ブレースにより執務室や窓口が分断される箇所が数多く出てくることから，市民サービスへの影響が多大であるため，**建替えにより耐震対策を実施**する。

・建替えまでの間，万が一大規模な震災が発生した場合に備え，現庁舎において，**市民・職員の安全確保のための対策工事を実施**する。

２．新庁舎整備検討（補正額：8,640 千円）

・新庁舎の整備に向け，候補地（案）や施設計画に係る基礎調査・検討を行う。

・候補地は,議会のご意見を伺いながら検討を進め,平成28年度中に決定する。

・基本計画は,平成 29 年度当初予算に計上し,平成 29 年度中の策定を目指す。

・平成 30 年度以降に設計や工事に着手し，平成 33 年度末以降の出来るだけ早い時期の新庁舎完成を目指す。

【参考】候補地の考え方（案）

・熊本地震を踏まえ，早期の建替えを図るため，
地権者との交渉・協議が不要な**市有地に建替える**

・市民サービスへの影響を最小とするため，
直接移転ができる場所に建替える（仮庁舎の確保を行わない）

・必要な面積が確保でき，かつ，公共交通機関が充足している場所に建替える（**市民の利便性を重視**）

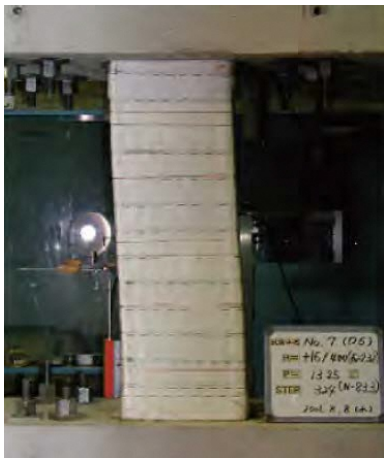
３．現庁舎安全対策工事（総事業費：185,000 千円，うち補正額:22,200 千円，債務負担額:162,800 千円）

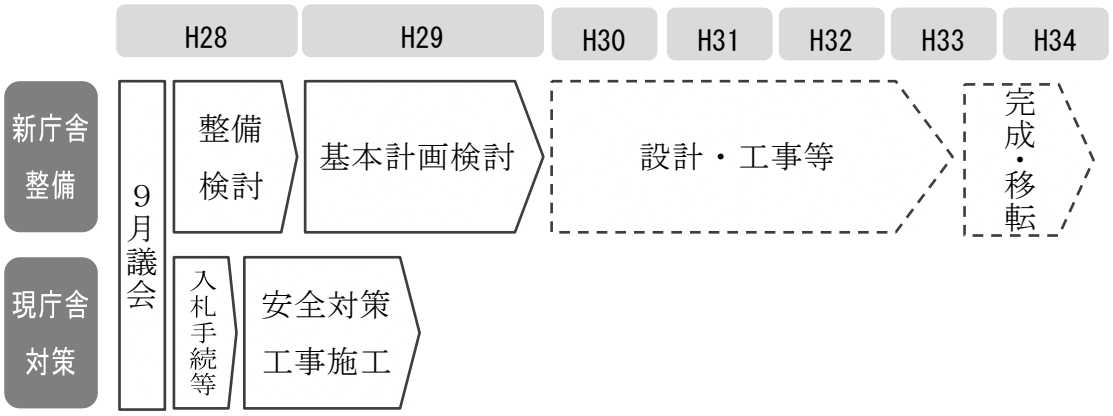
・建物が大地震動を受けても，柱の損傷による建物崩壊を防止するため，柱に特殊な帯状シートを巻き立てる安全対策工事を行う。

・工事は，平成 29 年 1 月頃に着手し，8 月頃に完了する予定。

【参考】大地震動を受けた場合の柱崩壊実験

（安全対策なし）



（安全対策あり）

４．スケジュール